

## 従業地・通学地による人口・就業状態等集計

(1)概況

(2)指定都市別

(3)市民就業者

(4)市民就業者(産業別)

(5)市内就業者

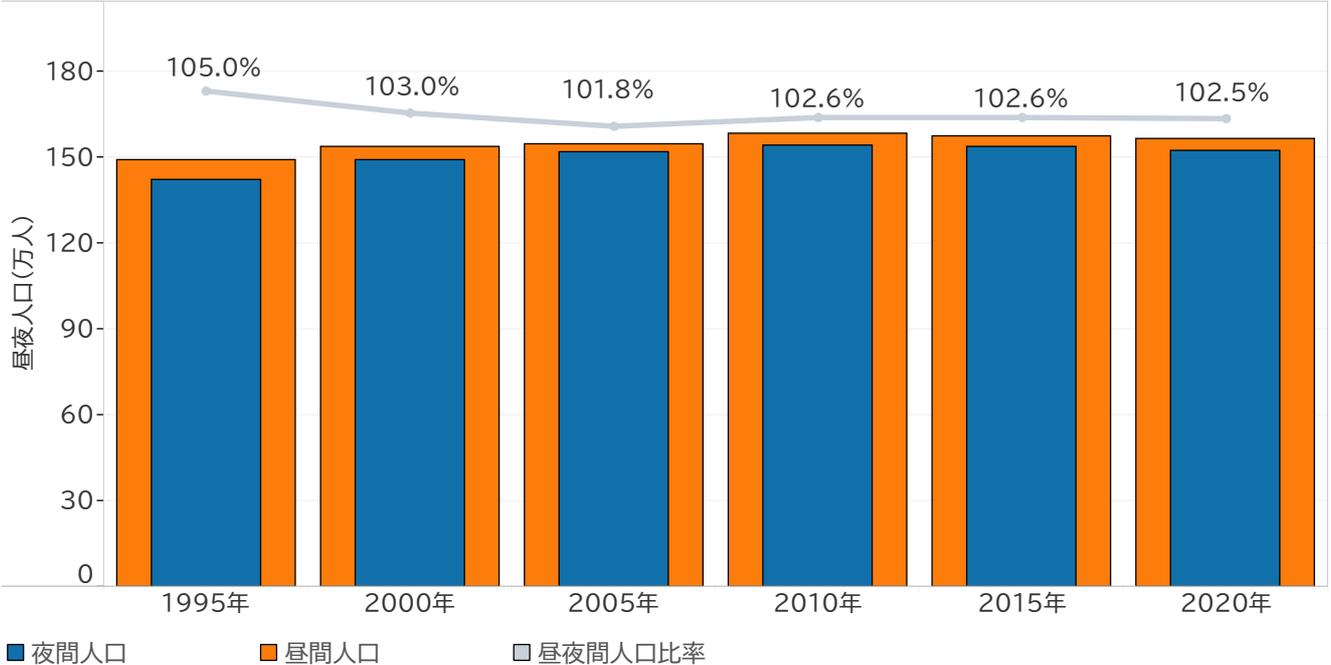
(6)市内就業者(産業別)

### 昼間人口は夜間人口を上回って推移

2020年の昼間人口は156.4万人と夜間人口(152.5万人)を上回る(昼夜間人口比率(※)102.5%)

※昼夜間人口比率：夜間人口 100 人当たりの昼間人口の比率  
 $\text{昼夜間人口比率} = \frac{\text{昼間人口}}{\text{夜間人口}} \times 100$

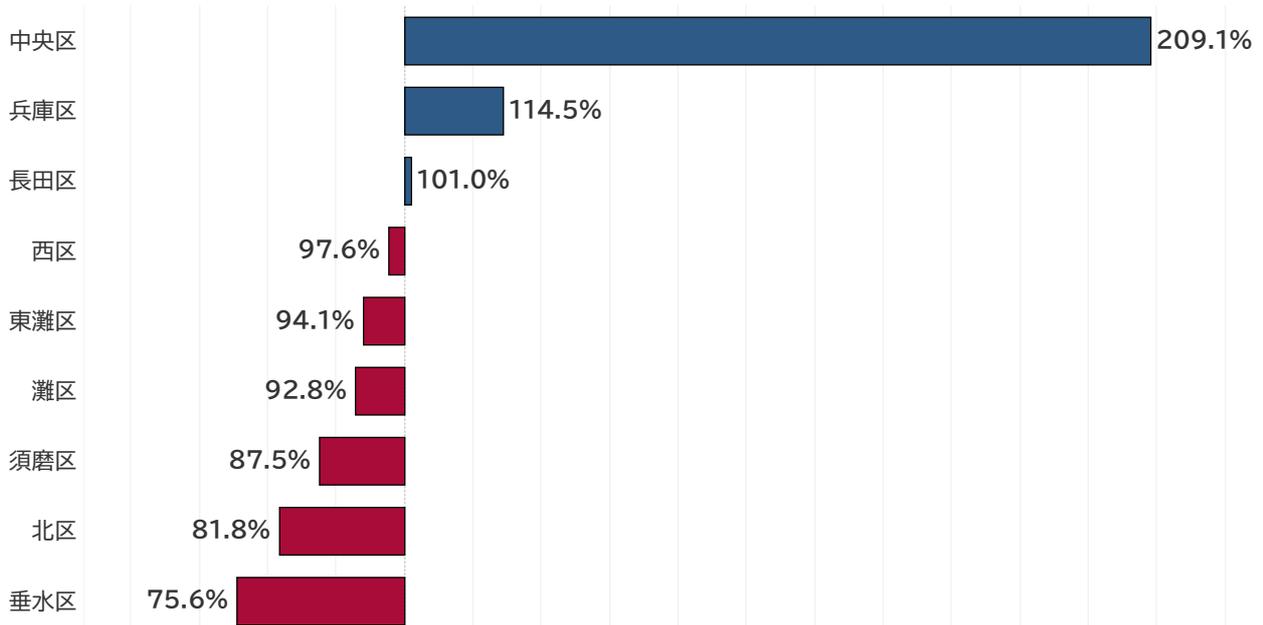
### 昼夜人口、昼夜間人口比率の推移



### 中央区の昼夜間人口比率が市内で最も高い

区別で見ると、昼夜間人口比率が最も高いのは中央区(209.1%)で、最も低いのは垂水区(75.6%)となっている。

### 区別 昼夜間人口比率



## 従業地・通学地による人口・就業状態等集計

(1)概況

(2)指定都市別

(3)市民就業者

(4)市民就業者(産業別)

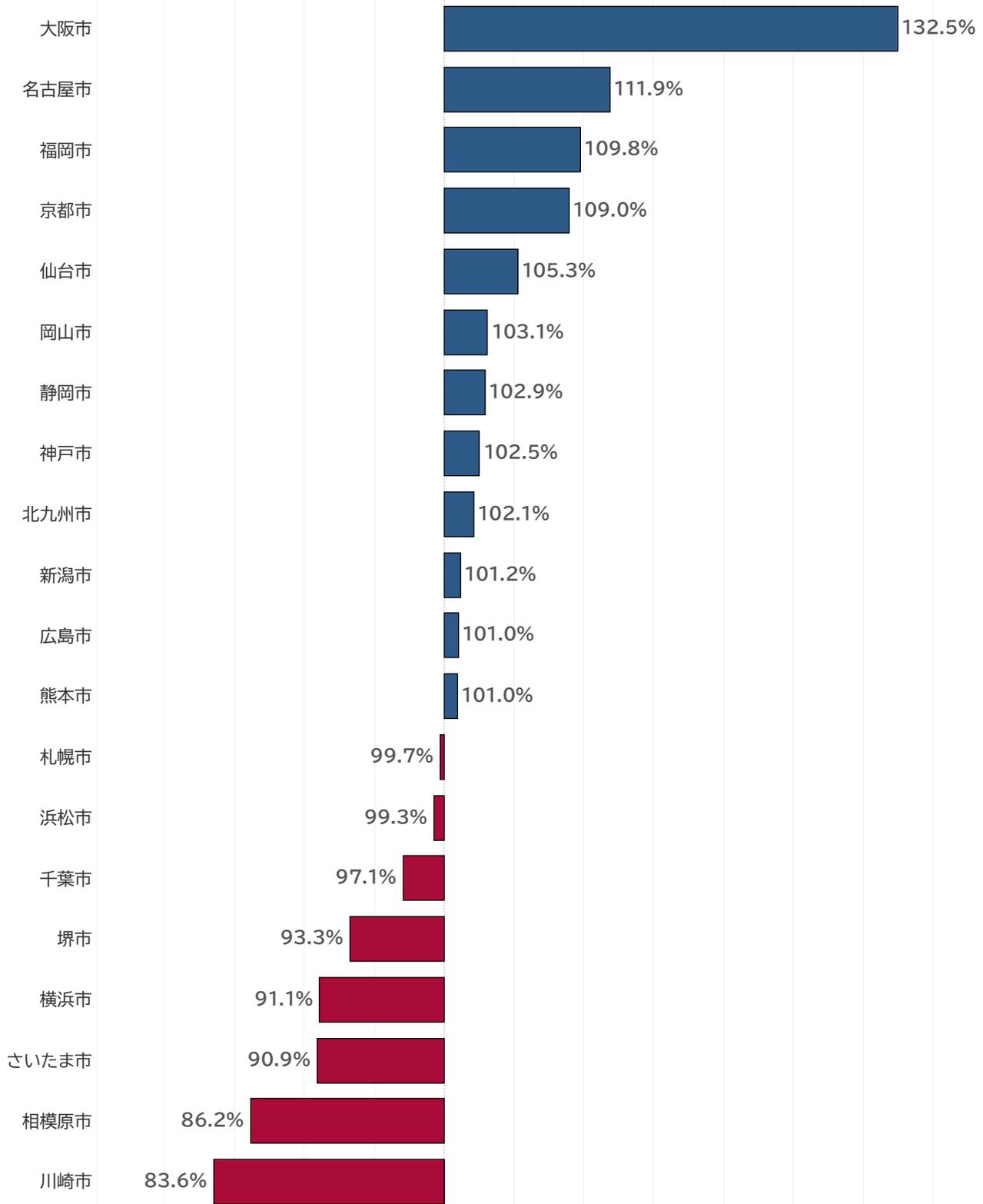
(5)市内就業者

(6)市内就業者(産業別)

### 神戸市の昼夜間人口比率は指定都市中8位

指定都市別で見ると、昼夜間人口比率が最も高いのは大阪市(132.5%)で、最も低いのは川崎市(83.6%)となっている。

指定都市別 昼夜間人口比率



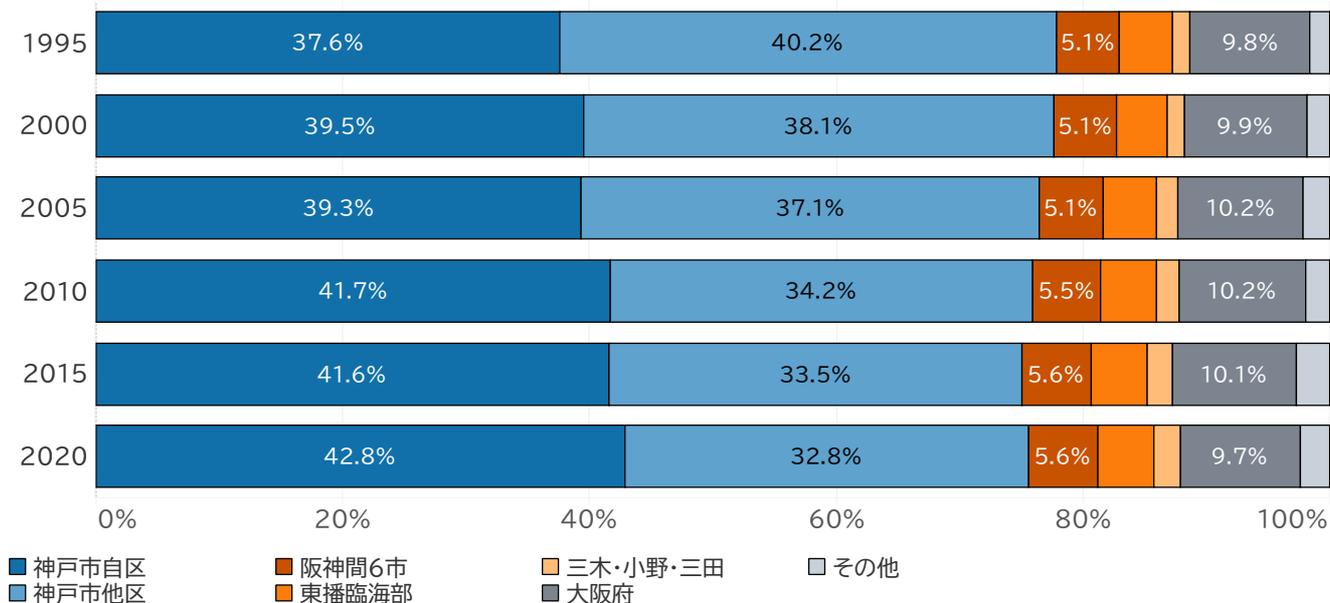
## 従業地・通学地による人口・就業状態等集計

(1)概況	(2)指定都市別	(3)市民就業者	(4)市民就業者(産業別)	(5)市内就業者	(6)市内就業者(産業別)
-------	----------	----------	---------------	----------	---------------

### 市民就業者が神戸市内で従事する割合は減少傾向

市民就業者のうち、75.6%が神戸市内で従事している。しかし、1995年と比べて2.2%ポイント減少している。

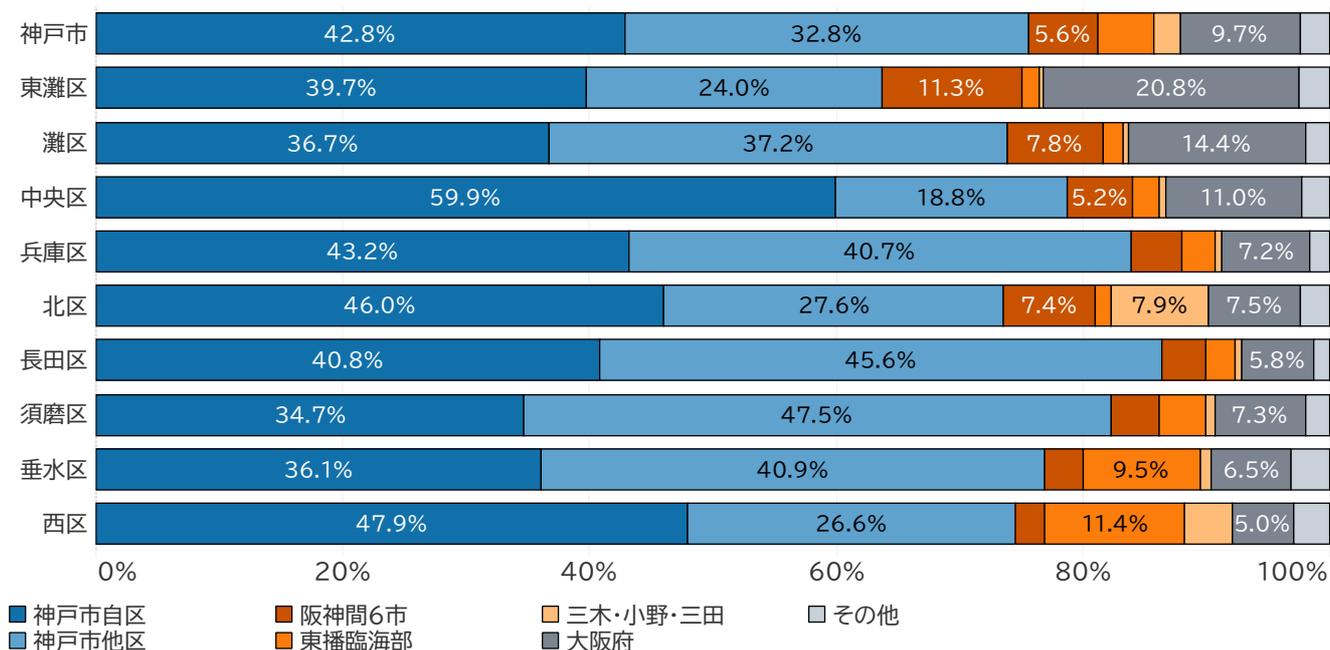
#### 従業地別 市民従業者の推移



### 市民就業者のうち、神戸市内で従業している割合は長田区が最も高い

区別で見ると、市民就業者のうち神戸市内で従事している割合が最も高いのは長田区(86.4%)で、最も低いのは東灘区(63.8%)となっている。

#### 従業地別 市民従業者(区別)



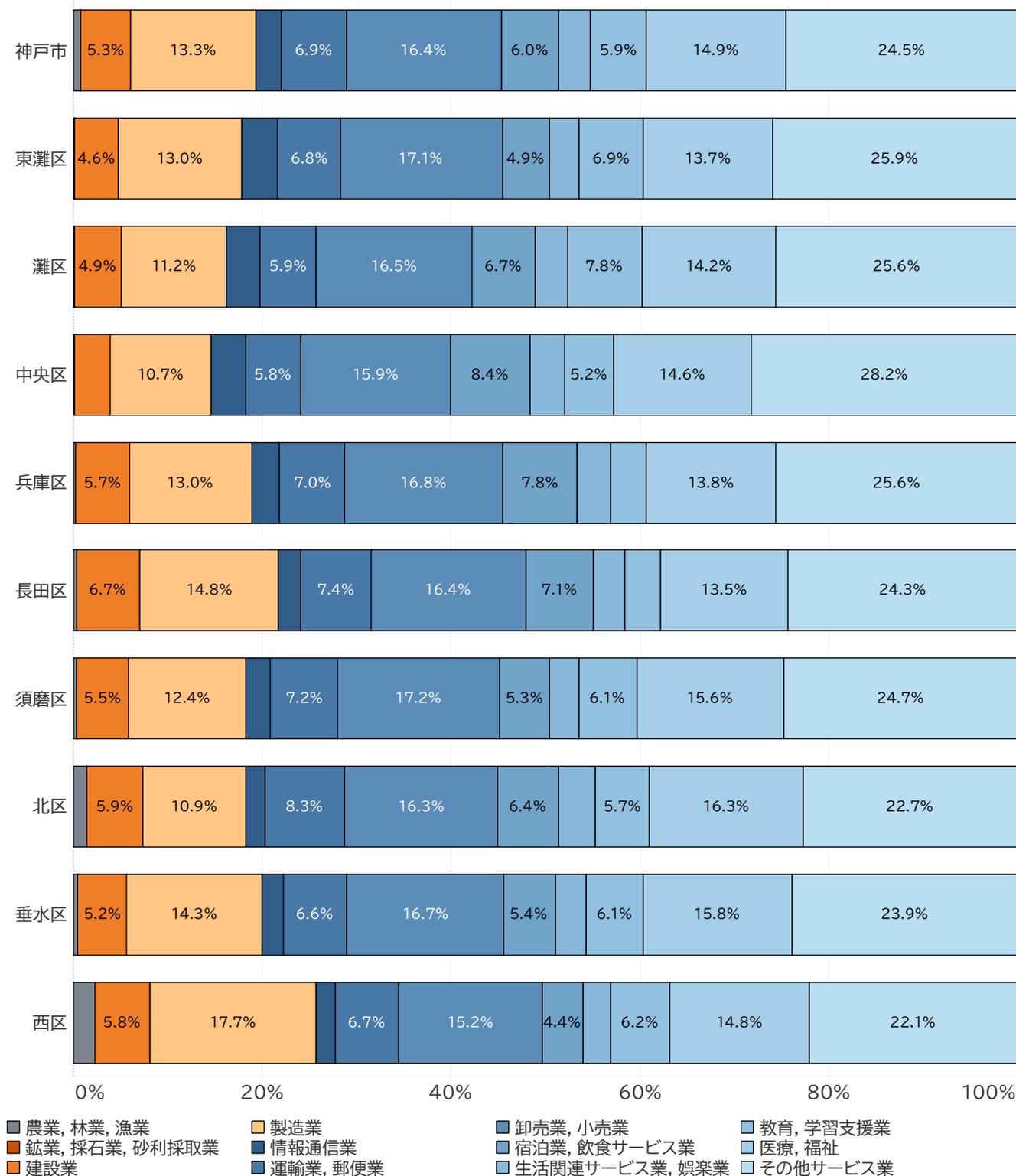
## 従業地・通学地による人口・就業状態等集計

(1)概況	(2)指定都市別	(3)市民就業者	(4)市民就業者(産業別)	(5)市内就業者	(6)市内就業者(産業別)
-------	----------	----------	---------------	----------	---------------

### 市民就業者では、卸売・小売業に従事している割合が最も高い

産業別にみると、市民就業者が最も従事している産業は、卸売・小売業(16.4%)、次いで、医療・福祉(14.9%)、製造業(13.3%)となっている。

### 産業別 市民従業者(区別)



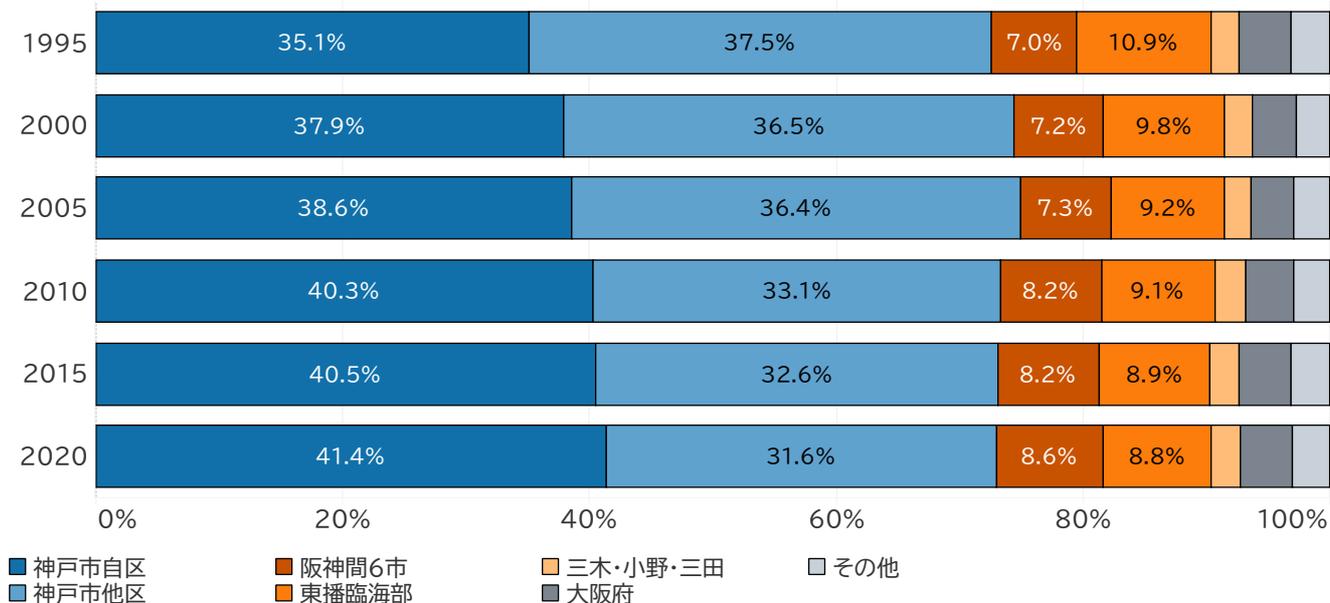
## 従業地・通学地による人口・就業状態等集計

(1)概況	(2)指定都市別	(3)市民就業者	(4)市民就業者(産業別)	(5)市内就業者	(6)市内就業者(産業別)
-------	----------	----------	---------------	----------	---------------

### 市内就業者の73.0%が神戸市内に常住

市内就業者のうち73.0%が神戸市内に常住しており、1995年と比べて0.5%ポイント増加している。

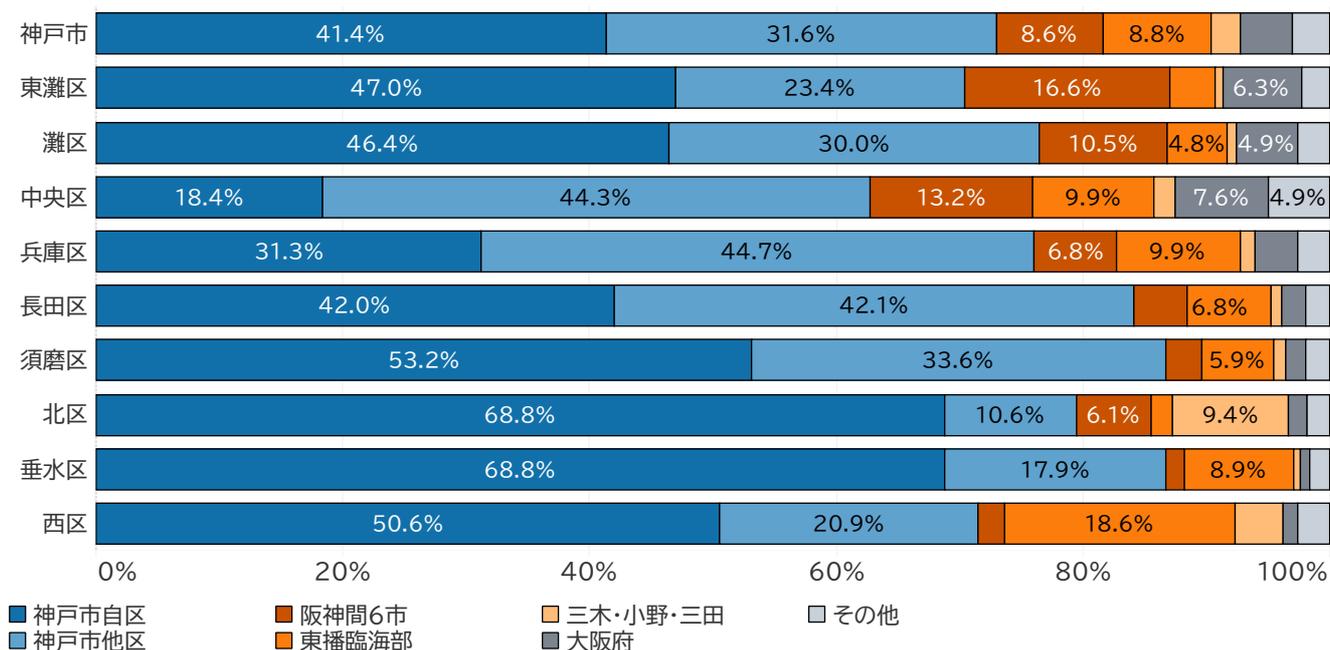
#### 常住地別 市内就業者の推移



### 市内就業者のうち、神戸市内に常住している割合は垂水区が最も高い

区別で見ると、市内就業者のうち神戸市に常住している割合が最も高いのは須磨区(86.8%)、最も低いのは中央区(62.7%)となっている。

#### 常住地別 市内就業者(区別)



## 従業地・通学地による人口・就業状態等集計

(1)概況	(2)指定都市別	(3)市民就業者	(4)市民就業者(産業別)	(5)市内就業者	(6)市内就業者(産業別)
-------	----------	----------	---------------	----------	---------------

### 市内就業者では、卸売・小売業に従事している割合が最も高い

産業別にみると、神戸市内の就業者が最も従事している産業は、卸売・小売業(16.8%)、次いで、医療・福祉(14.7%)、製造業(12.8%)となっている。

### 産業別 市内就業者(区別)

